

日本ビジネス能力認定試験 公式テキスト 導入校インタビュー

学校法人中央情報学園 早稲田文理専門学校

日中越英通訳・ガイド学科 学科長 川原 祥史 先生

外国人留学生にとって、日本語コミュニケーション能力の向上はもちろんですが、卒業後に出ていく企業文化や社会の仕組みを把握しておくことは、生活の基盤として重要なことです。JBMT 公式テキストは日常の実務のほか、日本企業の特徴や社会人として心得ておくべき意識についても留学生向けにわかりやすく丁寧に解説されています。

当校では「ビジネスコミュニケーション」「キャリアデザイン」等の授業において3級テキストを採用し、職業環境の理解や就職活動のためにも役立っています。年に3回の認定試験合格を目指した勉強も学生たちの励みになっており、今後ますますビジネス学習の裾野を広げていきたいと思っています。



東京国際学園外語専門学校

教務部 江口 亜耶子 先生

留学生が日本で就職するうえで必要なビジネスマナーや一般常識を身に着けるため、勉強や受験がしやすい検定を探し、授業に導入しました。テキストにはルビがついており、試験問題は選択式で、本校の学生からはわかりやすかったという声があがっています。合格した学生は自信をもって、取得した資格を履歴書に書いています。1年次に不合格だった学生も2年次に再チャレンジをするなど、学生にとって取り組みやすい試験だと思います。

今後は、受験級をさらに上げられるように、教員学生共に頑張っていきます。



学校法人情報文化学園 アーツカレッジヨコハマ

教育推進室 宮下 泉美 先生

国際情報ビジネス学科では、母国で役立つ専門技術とビジネス教育を留学生に提供し、日本企業への就職につながる支援をしています。ビジネス教育の一環として、1年次のビジネスコミュニケーションの授業で日本ビジネス能力認定試験公式テキスト3級を使用しています。テキストで学んだことが実践で活かせるように、ロールプレイ、ケーススタディ、グループワークにも取り組んでいます。

「テキストの内容が役に立って面白い」「アルバイト先でほめられた」など、学生からの評判も大変良く、2021年度1年生の63.2%が3級に合格しました。今後は卒業前から社会人としての自覚が持てるように、2級合格も目指して指導していきます。



留学生だけが在籍する学科で、資格試験を検討していたところ、見つけたのが日本ビジネス能力認定試験でした。教科書にルビがついていることから N3 レベルの学生でも学びやすいもので、日本で生活する留学生には非常に身近な内容が多いと感じ、採用しました。

ビジネスマナーの授業で使用していますが、教科書の内容から学生が普段疑問に思っていたことなどもでてくるためインタラクティブな授業ができています。ビジネスのシーンでは実際に学生に名刺を作成させ、席次を考え、お客様の会社に訪問するなどのロールプレイもしながら、自然と楽しく学ぶことができいております。

* その他、短期大学や航空系、自動車系、医療系専門学校などさまざまな分野の教育機関様で採用されています。